

2026年6月29日

各位

会社名 株式会社YAKホールディングス
代表者名 代表取締役社長 水神 怜良
(コード番号: 375A TOKYO PRO Market)
問合せ先 経営企画部 部長 市川 怜
(TEL. 03-5817-8967)

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

当社は、2026年4月3日付で株式会社東京証券取引所より発出された通知「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」による要請に基づき、当社のTOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況の評価等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、TOKYO PRO Market を将来的な成長と更なる資本市場活用に向けた重要なステップと位置付けております。TOKYO PRO Market への上場を通じて、主として下記2点の実現を目的としております。

- ①当社グループの持続的な成長による企業価値向上
- ②当社グループの経営基盤の強化

事業面においては、上場企業としての社会的信用力及び知名度の向上を図ることで、優秀な人材の確保、取引先の拡大並びに金融機関との取引拡大による資金調達力の強化を実現し、持続的な成長による企業価値向上を目指しており、経営面においては、経営管理体制及びガバナンス体制の高度化を推進するとともに、経営の透明性向上及び業務効率化・標準化を図ることで、上場企業として求められる経営基盤の強化に取り組んでおります。

2. 上場目的の実現に向けた取り組み

- ① 当社グループの持続的な成長による企業価値向上

事業面においては、不動産売買仲介、不動産買取再販、不動産管理及び融資仲介等のサービスをグループ内で展開し、顧客に対してワンストップでサービスを提供できる体制構築に努めております。また、外国人顧客及び海外投資家に対応可能な多言語対応力と専門的な営業ノウハウを強みとし、外国人顧客特有のニーズや商習慣への理解を活かして、日本国内の不動産取得から融資仲介、不動産管理までを一貫して提供することでも差別化を図っております。

加えて、不動産管理事業の拡大によるストック収益の強化を図るとともに、M&A を通じた人材及びノウハウの獲得並びに事業領域の拡大を推進しております。また、AI 技術及びシステム投資による生産性向上を進め、その過程で蓄積される知見及びノウハウを事業に活用することで、更なる競争力の強化に努めてまいります。

- ②当社グループの経営基盤の強化

経営面においては、グループ各社の事業拡大及び組織規模の拡大を見据え、各社の業務運営及び管理手法の統一を進めております。具体的には、内部監査体制の強化及び各種規程の整備により統制環境を整えると

ともに、業務のデジタル化及び業務プロセスの標準化を推進することで、グループ全体として一貫性のある業務運営及び迅速な意思決定が可能な体制の構築に取り組んでおります。

3. 今後の方針

当社グループは、不動産事業を主軸としつつ、インバウンド領域において特色ある事業構築を進め、その領域のリーディングカンパニーとなることを中長期的な経営方針としております。

今後は、主力事業の拡大に向けた営業基盤の強化と新たな事業機会の創出を通じて事業成長を加速させるとともに、AIの活用及び業務の標準化を推進することで、安定的な収益構造の確立に取り組んでまいります。

また、2030年度における売上高100億円の達成を目指すとともに、資本市場における評価の更なる向上を見据え、中長期的なステップアップを進めていく中で、まずは一般市場への上場を目指し、将来的にはその先のプライム市場への上場も視野に入れながら事業面及び経営面の両軸において、より高いレベルでの体制構築に努めてまいります。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後について確約するものではありません。

以 上